

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	特別研究 1	
科目基礎情報							
科目番号	0005			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	前期:6		
教科書/教材	各教員の指示による。						
担当教員	大根田 浩久						
到達目標							
本科における学習、及び専攻科で得た知識を基礎として、より高いレベルの専門分野の研究を行う。学術講演会（学外発表）・学内発表会などを経験することにより、プレゼンテーション能力を養う。また、論文作成により、専門的な問題に対して、適切に対応できる力を養う。特別研究への取組姿勢や研究の完成度に基づき、総合的により評価する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 専門分野の理論習得、周辺分野の知識習得、仕様の策定	自ら行うことができる。		指導の下で行うことができる。		行うことができない。		
評価項目2 実験やシミュレーションによるデータ収集、仕様に基づくものづくり	自ら行うことができる。		指導の下で行うことができる。		行うことができない。		
評価項目3 データの解析と考察、第三者の評価に基づく改良	自ら行うことができる。		指導の下で行うことができる。		行うことができない。		
評価項目4 学術論文形式での記録、プレゼンテーションによる説明	自ら行うことができる。		指導の下で行うことができる。		行うことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E1 専門 E2 専門 E3							
教育方法等							
概要	研究を指導する教員の下で研究活動を行い、研究課題に対するアプローチの方法や実験結果に対する分析・解析法などを学ぶ。また、問題解決の意識・能力を高めるように指導する。						
授業の進め方・方法	各指導教員において適切に研究テーマの選定（特例認定を受けている研究テーマ）を行い、研究活動に取り組む。また、発表会・アブストラクトにおいて指導教員と審査教員によって評価され、総合評価で60%以上の評価で達成とする。						
注意点	研究活動の遂行により、学外の学術講演会で発表できる研究成果を得ることが望ましく、また、発表することを期待する。研究室の後輩などの指導も積極的に行うよう心掛けること。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	適切な研究テーマ（特例認定研究のテーマ）を選定し、研究を進める		研究の進捗・進展に合わせた「目標設定」、「目標到達」を考える		
		2週	以降、同じように進める		以降、同じように進める		
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	レポート	実技・成果物	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	30	30	0	10	100
基礎的能力	0	5	10	10	0	0	25
専門的能力	0	15	10	15	0	0	40
分野横断的能力	0	5	0	0	0	0	5
総合的学習経験と創造的思考力	0	5	10	5	0	0	20
態度・志向性（人間力）	0	0	0	0	0	10	10